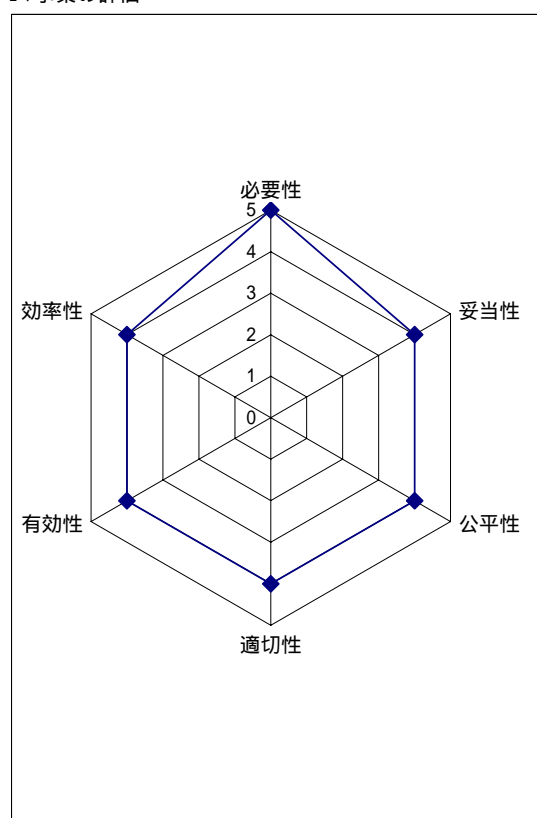


事務事業名	障害者ワークス運営事業	担当部局	市長部局 保健福祉部
基本目標	ともに生きる健やかな福祉社会づくり(健康・福祉)	担当課名	社会福祉課
施策体系	総合的な地域福祉のしくみづくり(障害者(児)福祉)	担当係名	障害福祉係
施策	福祉サービスを充実する		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	結城市在住の身体障害者及び知的障害者に対して、作業訓練及び生活訓練等を行うことにより、社会生活への適応と生きがいを高め、結城市の障害者福祉サービスの充実を図ることを目的とする。		
事業の期間(開始/終了)	平成11年 4月/ 年 月		
根拠法令、条例、規則など	結城市障害者福祉ワークス運営事業実施要項		
事業が対象としている人(モノ)	結城市内に居住の身体障害者	結城市内に居住の知的障害者	
具体的な活動内容	障害者の日中活動の場を確保する		
	作業訓練や生活訓練を実施する		
事業の成果	障害者の置かれている家庭環境及び生活状況を把握することができた		
	障害者に対して日中の社会参加の場を提供することができた		
	障害者やその家族同士の交流の機会を持つことができた		
	訓練を通じて障害者の社会生活への適応を高めることができた		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている 地域社会におけるノーマライゼーションを実現する為に、在宅の障害者に対する社会参加の場を提供する当事業の役割は重要であり、今後も継続させていく必要がある。
妥当性	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である 障害者の自立促進・社会参加といった公共性の高い事業であり、安定した運営基盤を維持していく必要性があることから民間委託での実施は適切ではない。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している 対象者を結城市内に居住する身体障害者及び知的障害者としており、当事業の主旨に反していない。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 作業訓練・生活訓練・レクリエーション等を実施するにあたり、指導員・建物及び活動スペース等が不可欠であることから委託形態をとっているものであり、適切である。
有効性	4 概ね目標水準に達している 利用延べ人数は増加傾向にあり、事業の目的は概ね達成されているものと思われる。実利用人数は16名程度であり、サービス体制を整え、実利用人数の増加を今後の目標とすることによって更なる福祉サービスの発展に努めていく必要がある。
効率性	4 効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている) 年間の利用延べ人数は増加傾向にあるが、当事業は福祉サービスの充実を図ることを目的としており、経済性のみで事業内容を審議することは適切ではない。効率性の追求が福祉サービスの質の低下に結びつかないように留意する。

総合評価	障害者自立支援法の施行に伴い、当事業も地域活動支援センター事業に移行することが予定されているが、補助交付金額が減額となるなかで事業を維持していく為の財源をどのように確保していくかが問題である。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	新事業への展開	中長期的方向	拡充(人・モノ・カネ等の拡充)
	説明	障害者自立支援法で障害者地域活動支援センターに移行する予定である。市内の障害者の活動の拠点として位置づけていくことが必要となる。平成18年度実施する障害者福祉計画の中で市民の意見を聞き、ワークス事業から新事業に転換する。			
決定権者判断	決定内容	新事業への展開			
	説明	本事業の内容については、障害者福祉計画策定の中で十分検討し、新事業へ展開する。			